

## ◎盗忍! 剛衛門

「番長シリーズ外伝」と銘を打った本機。

「超番長ボーナス」を彷彿とさせる「超絶景 BONUS」など、

番長シリーズを踏襲しつつ、「盗目」システムという、新要素を採用。

5.9号機や6号機登場を控えた、5.5号機最後の大都技研の機種として、どのような動きを見せるのか。その内容をお伝えしていきます。

A+ART（純増約2枚/G）機。通常時は、約1/256で成立するチャンス目の一部で、ARTが確定し、プレミアム上乗せ特化ゾーンの「RED FOX」に突入する。



© DAITO GIKEN, INC.

# 番長シリーズに新たな1ページ

本機はA+ART（純増約2枚/G）機で、コイン単価は約2.7円。ベースは50枚あたり約45G、ART初当たり確率は1/492~1/238。出玉率は98.1~114.9%です。

### ■「盗目」システム

本機最大の注目ポイントは、各リールの中段に「盗」図柄が止まることで成立する「盗目」。通常時には、ARTを抽選。ART中は、特化ゾーン突入を抽選するフラグとなります。

「盗目」は、各リールに一つ止まれば1個獲得となり、1Gで最大3個獲得が可能。もちろん、複数個獲得した方がアツいです。

通常時は、「盗目」が出ると、7GのSTに突入。「盗目」を引くたびにSTゲーム数をリセットします。「盗目」は、獲得すればするほど、レベルが上昇。ST終了後に対決演出に発展し、勝利するとART突入という、フローです。

また、「盗目」を99個獲得すると天井。ARTが確定します。

### ■ART +ゲーム数上乗せ特化ゾーン

ART「粋三昧」は、ゲーム数上乗せ特化ゾーン「鬼粋」からスタートします。

「鬼粋」は4G+αのSTタイプとなっており、ベルや「盗目」などでゲーム数の上乗せが確定するとともに、STゲーム数をリセットします。さらに、

ST継続時に、上乗せの最低ゲーム数が上がることがあるため、大量上乗せにも期待できます。

ART中の「盗目」は、CZ（チャンスゾーン）や上乗せ特化ゾーンを抽選。CZ中は「鬼粋」などを抽選します。

### ■プレミアム要素

番長シリーズ同様に、本機でもプレミアム要素を二つ搭載しています。

まずは、10G継続+αのゲーム数上乗せ特化ゾーン「絶景RUSH」。毎ゲーム、「盗目」の数に応じてゲーム数を上乗せします（5~300G）。突入契機は、前述のCZの一部となります。

もう一つは、番長シリーズでいうところの「超番長ボーナス」。その名も「超絶景BONUS」です。番長シリーズ同様、リアルボーナスとなっており、確率は、1/32768。「超絶景BONUS」中は、7ぞろいで「鬼粋」をストック。「盗目」で「鬼粋」の獲得抽選を行います。

10月から1500Gの有利区間を搭載した5.9号機へと変わっていく中で、各メーカーの動きは鈍いといっているでしょう。11月以降の情報も、ほとんど上がってきていません。

ということで、今回は、本誌が発行するころには導入済みの9月の新機種から、絶好調の大都技研の機種をピックアップしてみました。

最近の同社の機械は「押忍!番長3」や「政宗2」など、ユーザーの評価が高いものが多く、本機も期待できる機械。「盗目」など、システムも面白く、個人的にも楽しみな機種です。

ただ、「番長シリーズ外伝」とはいえ、新たな世界観（安土桃山時代がモチーフ）である点と、これまでの番長シリーズとはまったく違うシステムなので、初打ちのユーザーが「何が起きているか分からない」ということが、多々発生してしまう可能性も…。

作り込みに関しては、今の大都なので問題ないですが、システムをしっかりとユーザーへ伝え、アツいポイントを、導入後、すぐに伝えていかないと、稼動がたれてしまう恐れもあり、注意して運用する必要がある一台といえるでしょう。

### PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して10年。業界歴は27年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画など多岐な活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。